

「靖国神社公式参拝」についての自由民主党見解に反対する声明

日本バプテスト連盟は「靖国神社公式参拝」についての自由民主党見解に対し、反対の意思を表明し、このような策動を行わない強く勧告する。

この「見解」は、同党靖国神社問題小委員会が招集した講師の意見の中においても13名中5名により反対若しくは疑念の意見が表明されたにも拘わらず、これを無視したかたちで強引にまとめられたものであり、然も内閣法制局も、これに対し違憲の疑いを否定できないと一貫して表明している。

この「見解」は「靖国神社公式参拝」が、宗教問題をこえた国民の心情の発露であるとして、政権党が圧力によって憲法解釈をねじ曲げようとするものであり、更に憲法改訂の意図を露骨に示したものである。と断ぜざるを得ない。

戦争犠牲者を偲び、遺族を慰め、平和を求める祈りの行為は、国民ひとりひとりの深い心に関する事柄であるが、国家の権力がこれに関与すべきものでない。

1984年4月26日

日本バプテスト連盟

1984年度 第2回 理事会